遠賀中間医師会

令和５年冬号No.18

地域と生きる

おんが病院・おかがき病院だより

脳・血管内科開設のお知らせ

おんが病院　吉川　公正　副院長、脳・血管内科部長

副院長　吉川　公正

本年10月よりおかがき病院副院長からおんが病院へ転任いたしました。吉川　公正（よしかわ　こうせい）と申します。診療科は新たに脳・血管内科を開設いたしました。

脳血管の疾患、おもに脳卒中（脳梗塞、脳出血など）の診療を担当します。脳卒中は死亡原因の第4位、要介護になる原因疾患の第2位（寝たきりに相当する要介護5では第1位）の疾患です。麻痺などの後遺症を残しやすく、認知機能の低下や介護負担が増えることも問題になっています。

私はこれまで脳卒中の急性期・回復期・維持期、地域医療や在宅医療に30年以上関わってまいりました。患者さんにとって急性期治療の重要性はいうまでもありませんが、その後のリハビリ、在宅復帰のための生活の見直しや再発予防、地域での医療や介護の調整など多くの職種の方々が関わっての大変な作業が待っています。急性期病院入院時より包括的に支援できる仕組みが必要です。

遠賀中間医師会おんが・おかがき病院では、脳卒中急性期治療を開始したことで、近隣の一次脳卒中センターと協力して、急性期から回復期、維持期の在宅での訪問診療・訪問看護・訪問リハビリなどと切れ目なく連携いたします。また在宅復帰後の再発や合併症などの急な体調変化にも急性期のおんが病院で受け入れ、いつまでも住み慣れた地域で生活できるよう支援してまいります。

しかし、脳卒中にはならないことが一番です。脳卒中の主要危険因子の高血圧・糖尿病・不整脈（心房細動）・高コレステロールなどを治療していくことが重要です。脳卒中になる前に、気になる方はかかりつけ医や当院へご相談ください。

脳卒中予防十か条

1. 手始めに　高血圧から　治しましょう
2. 糖尿病　放っておいたら　悔い残る
3. 不整脈　見つかり次第　すぐ受診
4. 予防には　たばこを止める　意志を持て
5. アルコール　控えめは薬　過ぎれば毒
6. 高すぎる　コレステロールも　見逃すな
7. お食事の　塩分・脂肪　控えめに
8. 体力に　合った運動　続けよう
9. 万病の　引き金になる　太りすぎ
10. 脳卒中　起きたらすぐに　病院へ

日本脳卒中協会

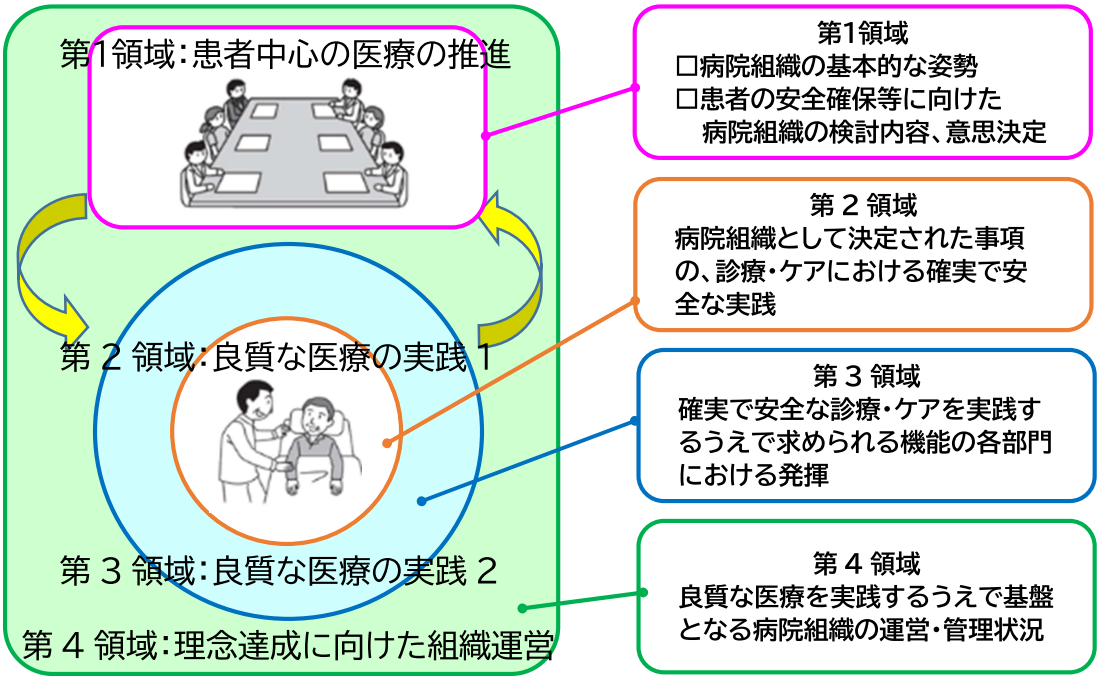
脳・血管内科　診療日

診療日：毎週金曜日、第２・第４木曜日
外来診療時間：13：00～16：00

〖日本医療機能評価機構の認定病院になりました〗

遠賀中間医師会おんが病院は、第三者評価として公益財団法人日本医療機能評価機構により認定基準を達成していることが認定されました。

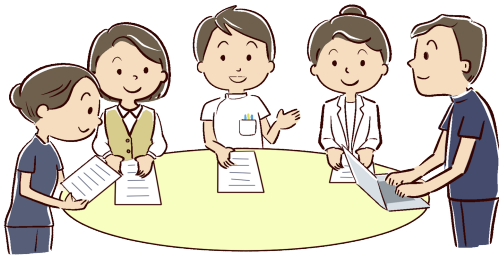
病院機能評価は、病院の質改善活動を支援するツールです。我が国の病院を対象に、組織全体の運営管理および提供される医療について、日本医療機能評価機構が中立的、科学的・専門的な見地から評価を行います。病院機能評価は、国民が安全で安心な医療が受けられるよう、4つの評価対象領域から構成される評価項目を用いて、病院組織全体の運営管理および提供される医療について評価します。



地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、日常的に努力している病院は、病院機能評価により、一定の水準を満たした病院として「認定病院」となります。現在、全国の約 25％の病院が病院機能評価を活用しています。

当院は、書面審査と訪問審査が行われ審議の結果所定の設定基準を達成していることが令和5年7月7日に認定されました。

今後も、より一層患者さんに、そして医療従事者も満足する医療の提供ができる病院を目指し医療の質の向上に努めてまいります。



認　定　証

Certificate of Accreditation

日本医療機能評価機構

認定第JC2449号
Accreditation Number

主たる機能：一般病院２
Hospital Type 2
（主として、二次医療圏等の比較的近い地域において急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院）
機能種別版評価項目3rdG：Ver.2.0

病院名
Hospital Name

一般社団法人遠賀中間医師会
遠賀中間医師会おんが病院
ONGA NAKAMA Medical Association ONGA Hospital

殿

貴病院が日本医療機能評価機構の定める
認定基準を達成していることを証する

This is to certify that the above hospital has demonstrated satisfactory compliance with the applicable JQ accreditation standards.

認定期間：2023年7月7日～2028年7月6日
交付日：2023年7月7日
初回認定：2023年7月7日

（認定1回目）

公益財団法人　日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

代表理事　理事長　河北　博文
Chairman of the Board　Hirobumi Kawakita

救急外来棟を新設しました

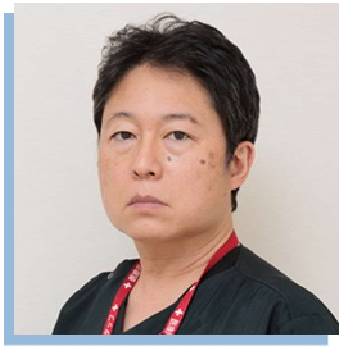
おかがき病院本館に一般外来のほか救急外来室・内視鏡室・訪問診療部・研修室および仮設の発熱外来があり、患者さんの状況に応じた診療を行ってきました。

今回、地域に根付いた医療を提供するために救急外来棟が増築され、1階に救急外来室・発熱外来・内視鏡室が移設し、2階には訪問診療部と研修室が移設となりました。

救急外来室および内視鏡室の設備も充足し、より多くの患者さんの診療を行うことができると思います。また訪問診療部は病院受診に来ることが出来ない患者さんの住居に医師および看護師が訪問し、住み慣れた環境で医療が受けられる体制を構築しています。

病院と地域が連携を図ることで、よりスムーズな医療を提供することが可能となりましたので、お気軽にご相談ください。

整形外科診療を開始します



整形外科　楊井 知紀

整形外科とは頭部～顔面(脳・眼・耳・鼻・口腔・咽喉部・顎関節)、胸腹部臓器(呼吸器・循環器・消化器・泌尿器・内分泌器官)及び体表の皮膚を除いた、脊椎と四肢の骨・軟骨・筋肉・腱・靭帯・神経等つまり「運動器」を対象とした診療科です。

当院においては他院で執刀された手術後の症例や手術対象外の脊椎・四肢骨折に対する入院リハビリテーション、週２回(月曜・木曜午前)の外来では当科疾患に対する保存的加療及び通院リハビリテーションを行っております。また、2023 年８月に手術室が完成致しましたので、日帰り手術(※)に対応可能となりました。

可能な精査は X 線単純撮影及び CT であり、MRI 撮像や骨密度測定には対応できません。そのため診断に MRI を要する場合は、関連病院である遠賀中間医師会おんが病院放射線科へ紹介を行い、骨粗鬆症の加療に関しては、同院骨粗鬆症専門外来と連携を取り対応させて頂きます。

※日帰り手術の対象

① 弾発指(ばね指)：手指の腱鞘炎に伴い伸展障害（指を伸ばしにくくなった状態)を起こす疾患。

② 手根管症候群：手掌の手関節側には手根管という１本の太い神経(正中神経)と指を動かす９本の腱が通るトンネルがあり、その中で正中神経が圧迫され母指・示指・中指・環指のしびれを生じ、進行すると母指の付け根にある母指球という筋肉が萎縮し母指と示指でものがつまみにくくなり、日常生活に多大な支障をきたす疾患。

御希望の方には日本手外科学会広報委員会監修のパンフレットをお渡ししますので、
当科外来へお問い合わせ下さい。

ピロリ菌って知っていますか？

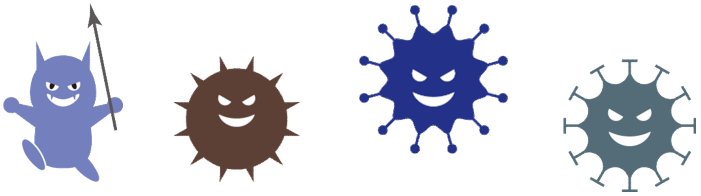
消化器科　岸原文明

ピロリ菌とは？

ピロリ菌(ヘリコバクター・ピロリ)とは、胃の粘膜に生息する細菌で、胃十二指腸潰瘍や胃炎、さらには胃がんの発生に大きく関わっています。胃内は強酸性の胃液があるため、通常、細菌は生息できませんが、ピロリ菌は、ウレアーゼという酵素を持っており、この酵素を利用して、自分の周囲をアルカリ性の環境に変化させ生息しています。日本人の感染者は推定 3000 万人で、感染率は年齢が高いほど高くなっていますが、20 代でも 5～10%に感染者がいると考えられています。

ピロリ菌はどうやって感染するの？

5歳ころまでの乳幼児期に、口から入って感染すると考えられています。とくに、母から子への家庭内感染が最も多く、大人から子への食べ物の口移しには重大な感染経路です。いったん感染すると、除菌しないかぎり、一生涯、胃の中に住み続け、青年期以降になって、ピロリ菌に関連したさまざまな病気が引き起こされます。両親や兄弟に、胃潰瘍や胃がんの既往がある方は、ピロリ菌感染の可能性があります。一方、大人になってからの日常生活や食生活では、感染は起こらないようです。

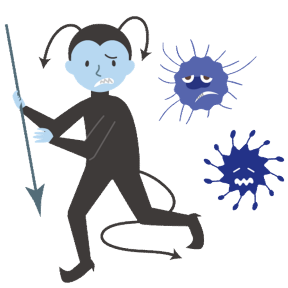


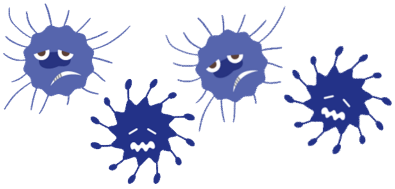
ピロリ菌と胃がん

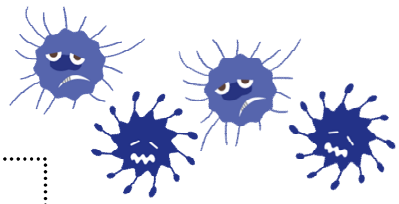
わが国では、胃がんの原因のほとんどがピロリ菌感染によるものです。ピロリ菌感染している人は感染していない人に比べ、胃がんリスクが 15 倍以上も高くなります。しかし、感染していても、除菌を行うことで将来的な胃がんリスクが低下することもわかっています。胃がんは 40 代後半より発見されることが多いので、なるべく若い時に除菌したほうが、胃がん予防効果も高くなります。世界保健機関(WHO)のがん研究の機関でも、「胃がん対策として、ピロリ菌感染検査と、陽性者への除菌による対策をおこなうこと」との勧告を発表しています。

当院の取り組み

おかがき病院では、ピロリ菌感染の診断と除菌治療に積極的に取り組んでいます。また、ピロリ菌検診や胃内視鏡検診も行っていますので、気になる方はご相談ください。







発 行 日：令 和５年１２月 吉 日
発　　行：遠賀中間医師会おんが病院・おかがき病院
編　　集：おんが病院・おかがき病院広報委員会